

# 令和元年度 第4回鳳来中部地域協議会 会議録

日 時	令和元年6月28日（金） 午後7時30分～午後9時34分	場 所	新城開発センター 3階 大会議室
出席者	委員 19名		
	事務局 4名		
欠席者	1名	傍聴者	なし
議題・議事・発言等			
<p>1 あいさつ</p> <p>2 説 明 (1) 制度について (策定要綱、予算額) (2) スケジュール</p> <p>3 議 事 (1) 自治区予算事業立案方法について ①継続事業について ②計画的に実施している事業について ③協議会委員、区長からの提案事業について</p> <p>4 その他 (1) 第5回地域協議会について (2) 第6回地域協議会について</p>			
会議内容			
<p>1 あいさつ (会長) 議事に先立ち、議事録署名人として柿原委員と梶村委員を指名した。</p> <p>2 説明 (1) 制度について 事務局より説明。 (2) スケジュールについて 事務局より説明。 【質疑】 (委 員) 組長会の日程を考えると7月19日締切りは厳しいので、締切りを伸ばすことは可能か。 (事務局) 最終締切りを7月26日とするが、できるだけ早めに提出して欲しい。</p> <p>3 議題 (1) 自治区予算事業立案の方法について ①継続事業について ・AEDについて事務局より説明。 【質疑】 (委 員) リース契約を継続するのか、場所を増やすのかどちらか。 (事務局) 現在設置してあるAEDを今後継続するのか検討して欲しい。 (委 員) 現在のものは存在が周知されているので、引き続き設置すべき。 (委 員) 継続する場合でも、リースよりも購入した方が安くなると思う。 (委 員) 安さよりも、いざというときに確実に使える状態を保つ方が大切。 【採決】 挙手全員によりAEDを継続することに決定。次回協議会にて、見積もりを徴収し、リース、購入の比較を提示する。</p>			

・地域安全灯について事務局より説明。

【質疑なし】

【採決】 挙手全委員により、継続することに決定。

・防災備品貸与について事務局より説明。

【質疑】

(委員) 地区の要望でなく市が必要なものを提示して整備すべき。

(事務局) 市では、小学校区単位で配備している。自主防災会単位では、必要なものが異なるため要望により整備している。今後の課題としたい。

(委員) 防災訓練以外にも使用しても問題はないか。多くの人が防災備品に触れる機会を増やすことが必要。

(事務局) 使用方法や状態の確認のためにも定期的に使用してもらいたい。

(委員) 防災資機材貸与事業も廃止になる可能性はあるか。蔵平地区では、必要な備品は完備されている。他の地区でも同様ではないか。

(事務局) 今のところ廃止ではない。事業に一定の区切りを付けるためにも、必要備品が完備されている地区は、調査の際その旨を記載して欲しい。

(委員) この事業が廃止された場合は、他に整備する方法はあるか。

(事務局) 現状では、防災活動補助事業が利用できる。補助事業であるため、一部自己負担が必要となる。

【採決】 挙手多数により継続することに決定。(賛成 16名)

・防災活動補助事業について事務局より説明。

【質疑】

(委員) 長篠西地区には古いホースが多く、計画的に更新していきたいと考えているので、継続を望んでいる。

(委員) ホースの交換時期は法律で定められているのか。

(事務局) 法律での定めはないが、メーカーの耐用年数がある。

(委員) 消防団へのホース貸与はあるか。過去には、消防団で使わなくなったホースを消火栓器具庫で使っていた。

(事務局) 貸与されているが本数は減っている。

(会長) 一度、全地区で状況を調査した方がいいのではないか。

(委員) 1箇所新しいものを保管し、使用する場合はそこに取りに行くという方法もある。

【採決】 挙手全員により継続することに決定。

## ②計画的に実施している事業について

・通学路安全対策事業について事務局より説明。

【質疑】

(委員) 小学生がバス通学になり県道を利用してバス停まで通っているが、交通量も多く大変危険である。何とかできればと考えている。

(事務局) 自治区予算の前提として、国、県の事業はできないことになっている。要望を挙げてほしい。

(委員) この件については、共育委員会でも話題が出ているので、優先的に考えて欲しい。

(事務局) 教育委員会とも情報共有しながら、対応を考えたい。

(会長) 要望については、事務局からのフォローをお願いしたい。

(委員) 通学路安全対策事業とあるが、通学路に限定したものか。蔵平区では高齢者が多いので、その対策が必要である。

【採決】 挙手全員により継続に決定。カーブミラーは要望があれば実施、カーブミラーの設置については、通学路と区別せずに同等に検討することに決定。

・地域計画推進事業について事務局より説明。

【質疑】

(委員) 推進委員として会議に参加しているが、4回では少なすぎる。

(会長) 事務局から必要回数を提示してもらおうと言うことで良いか。

(異議なし)

③協議会委員、区長からの提案について  
事務局より、提案の方法について依頼した。

【質疑なし】

(2) 地域計画推進委員会からの提案について  
事務局より説明。

【質疑】

(委員) 予算を付けるのは良いが事業化できるのか。

(事務局) 期間は短いが進めていく。

(委員) 単年度でなく、複数年で実施したい事業もあるのでは。

(事務局) さしあたっては単年度で考えるが、地域計画の推進を考えると複数年継続してやるべき事業も必要となるので、今後徐々に考えていきたい。

(委員) 推進委員会からの額の要望はあるのか。

(事務局) ないので、議論の目安として提示して欲しい。事業化の可否については協議会で判断する。

(委員) 上限を設けなくても良いのでは。また、各部会均等にいくらとしなくても、良い事業があればそれに絞り込んでも良いと思う。

(委員) 上限を示したために、提案が制限される恐れもある。本当に良い事業であれば、他の事業を削ってでもやるべきということも考えられる。

(会長) あくまで目安であるので、金額を示したい。30万、60万、90万のいずれかで挙手して欲しい。

【採決】採決の結果、過半数の挙手があった60万円に決定。

#### 4 その他

第5回、第6回地域協議会の日程について

(委員) 調査票の締め切り日が延びたが問題はないか。

(事務局) 準備できたところから、順次提出してもらえれば問題はない。

※協議会の日程については、事務局案のとおり決定。

第5回地域協議会：8月2日（金）

第6回地域協議会：9月6日（金）

(所長) あいさつ

終了 21時34分